

を代表してご献体やご遺族、でいご会の皆様に深い敬意と感謝の念を表したいと思います。

御献体された方々や御遺族のかたの想いを胸に刻み、高い技術を身に付けるだけでなく高い倫理観を持った、より良い医師となるべく2年次一同、一層勉強に励んでいきます。

話は変わりますが、新たに5人の学士さんが私達の仲間になりました！年次会では今までのメンバーもとても仲良く話しており、絆が強くなっていていてるのを感じるとともに、様々な経験をしてきてここにやってきた新しいメンバーに刺激付けられて、今年度も勉強で忙しいながらも楽しい学校生活が送れそうです。



## 「1年次の近況報告」

榎原 せりあ (1年次)

梅雨も中休みとなったのか、さわやかな青空が広がり、絶好の海日和でございます。同窓会員の皆様、はじめまして。医学科1年生の年次長の榎原せりあと申します。私は、5月に全学のダイビング部に入部しました。今は週に2回程度、海にシュノーケリングに行っております。海の生き物たちと触れ合う時間は、とても充実した時間です。

5月22日、大学の開学記念日の日に、熱帯医学研究会主催の病院見学があり、私も参加しました。私はハートライブ病院に見学に行きました。初めに、病院の大まかな案内をうけ、そのあと研修医1年目の先生に連れられて、手術を見せてもらうことになりました。乳癌の手術でした。まだ入学して間もないため、医学の専門的な知識がほとんどなく、研修医の先生にたくさん質問しました。先生が優しく、わかりやすく教えてくださったおかげで、形成外科のことや、センチネルリンパ節について知ることができました。手術室には、外科の先生もいらっしやっただので、卒業後のことや、初期研修の後専門分野に分かれるお話などを聞けました。私は将来、心臓外科医になりたいと思っていますが、今回詳しいお話を聞いたことで、自分の夢を具体的に描けるようになりました。

手術が始まり、患者さんの乳房を電気メスで切っ

ていくとき、人の肉が焼ける、独特な臭いがしました。初めて嗅ぐ臭いでしたが、あまりいい臭いではありませんでした。そして、執刀医の先生が、患者さんの体に引かれた線の通りに切り終えた後、急に聴覚や嗅覚が鈍くなり、めまいがして、倒れてしまいました。

今まで、医学概論の手術などで手術の映像を見てもつらくなったことが無かったため、自分でもびっくりしました。ずっと立ちっぱなしだったことや、電気メスの慣れない臭いのせいだったのだと思います。今回は倒れてしまったため、手術を全部見ることはできませんでしたが、生まれて初めて手術を間近で見られて、たいへん貴重な体験ができました。少し休憩を取った後、内科の病室に行き、簡単な診察をさせてもらいました。お腹の触診をしたとき、手の温かさを褒められたのが嬉しかったです。数分間、患者さんと会話をしましたが、コミュニケーション能力の大切さを感じました。そのあと、救急に行き、研修医の先生の腕で採血をさせてもらいました。予備校に通っていた頃、予備校の企画で、大阪市立大学の医学部のシミュレーションセンターにて、人形の腕を使って採血の体験をしたことが記憶に新しくなったためか、あまり緊張せずに採血ができました。最後に、お昼ご飯をごちそうになりましたが、そこでも研修医の先生方から、色々なお話を伺うことができ、とても有意義な時間となりました。

一年次の前期は、まだ専門分野の授業がほとんどなく、医学生としての自覚が薄れがちな時期ではありますが、こうして病院見学に行くことで、自分も将来、このような場で働くことになるのだ、という気持ちになりました。今も、生命科学や医学概論やシミュレーション演習といった、医学の入門にあたる授業がありますので、これらの授業の一つ一つを大切に受けていこうと思います。

長くなりましたが、これを以て一年次の近況報告といたします。稚拙な文章ではございますが、最後まで読んでくださり、ありがとうございました。末筆ながら、皆様のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

